

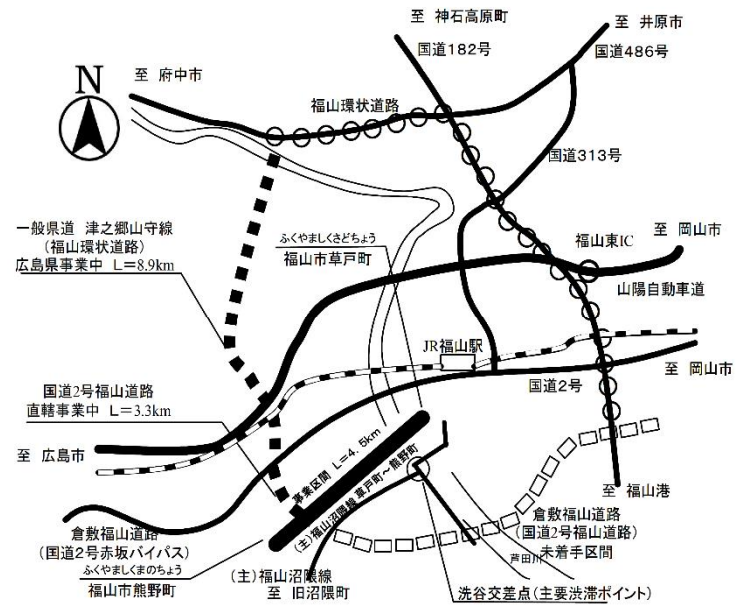
再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 環境安全・防災課

担当課長名:水野 宏治

事業名	地高 IC アクセス 主要地方道福山沼隈線（草戸～熊野工区）			事業区分	地方道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県福山市草戸町 至：広島県福山市熊野町				延長	4.5km	
事業概要							
主要地方道福山沼隈線（草戸～熊野工区）は、福山地方拠点都市地域の南方向の幹線道路として、一般国道2号福山道路と接続し、福山市中心部と沼隈半島地域との連絡を強化する道路であり、朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的に混雑している現道の主要地方道福山沼隈線の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保並びに円滑な緊急活動や災害時の緊急輸送道路の確保等を目的とし広島県福山市草戸町～広島県福山市熊野町までの延長4.5kmを整備するものである。							
H12年度事業化		H12年度都市計画決定		H16年度用地着手		H18年度工事着手	
全体事業費		約450億円		事業進捗率		約82% 供用済延長 - km	
計画交通量		4,900～31,000台／日					
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用（事業費）/（事業全体）		総便益（事業費）/（事業全体）		基準年
	（事業全体）	（事業全体）	83/537億円		1,318/1,318億円		
	2.5		（事業費：81/535億円		走行時間短縮便益：1,248/1,248億円		
	（参考）4.0 [2%]	7.5%	維持管理費：2.0/ 2.0億円		走行経費減少便益：64/ 64億円		令和6年
	5.3 [1%]		更新費：-/ -億円		交通事故減少便益：6.3/ 6.3億円		
	（残事業）	（残事業）					
感度分析	15.9		（事業全体）		（残事業）		
	（参考）23.5 [2%]	40.0%	交通量	B/C=2.2～2.7（±10%）	交通量	B/C=14.3～17.5（±10%）	
	29.3 [1%]		事業費	B/C=2.4～2.5（±10%）	事業費	B/C=14.5～17.6（±10%）	
			事業期間	B/C=2.3～2.6（±20%）	事業期間	B/C=15.2～16.5（±20%）	
事業の効果等							
・福山中心部と福山市南西部及び沼隈町方面地域を連絡する道路として地域間交流の促進が図られる。							
・朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的に混雑している現道の福山沼隈線の交通渋滞が緩和される。							
・事業完成後、第一次緊急輸送道路に位置づけられる予定であり、災害時の緊急輸送道路の確保が期待できる。							
関係する地方公共団体等の意見							
地元の福山市は、一般国道2号福山道路との一体的な整備を行うことで、「福山港ふ頭再編改良事業」とも相乗効果が発現し、物流の効率化及び企業の生産性の向上に寄与するため、本線の早期完成を強く望んでいる。							
事業評価監視委員会の意見							
事業継続を妥当と認める。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
福山市は平成15年2月3日に内海町、新市町、平成17年2月1日に沼隈町、平成18年3月1日に神辺町と合併。							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
用地進捗率約96%、事業進捗率約82%							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
用地取得及び（仮称）長和ICにおいて法面崩壊への対策に時間を要したため長期化しているが、引き続き工事を推進し、早期に供用できるよう事業進捗を図る。							
施設の構造や工法の変更等							
残土処分費について工事間流用による縮減に努める。							
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由							
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。							

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)